

# SOAS Language Centre

## Intermediate Japanese Class Projects 2010-2011

### 三島 由紀夫 by Dewi Novianty

みしま ゆきお (本名: ひらおか きみたけ、1925年-1970年) は、日本の小説家しょうせつかで、また劇作家げきさつかです。三回ノーベル文学賞の候補者こうほしや しめいに指名された世界的に有名で、戦後の日本文学で代表的な作家の一人です。でもそれより、クーデターで敗れた後に切腹自決せつぷくじけつしたことで世界に最も名を残しました。そのときまだ45歳でした。

きみたけ (三島由紀夫) は、12歳まで祖母どうきよと同居し、幼少年期ようしょうねんきは祖母の絶対的な影響えいきょう下に置かれていました。男の子らしい外で遊びが許されなかったため、公威はよく従姉妹いとこと人形遊びをしていました。祖母の夏子は過激な性格の人で、公威に貴族趣味を含む過保護な教育をして行きました。夏子は、歌舞伎や能を好んだので、それによって公威の小説家と劇作家としての作家的素養そようが培つちかわれていきました。

大人になった公威は俳優はいゆうやモデルもすることがありました。1968年若い学生が占めている楯たての会かいという私兵しへいを設立せつりつして、自分で訓練して、天皇を守ることを誓ちかいました。1970年11月25日、陸上自衛隊りくじょうじえいたいの東部方面とうぶほうめん総監部の総監室そうかんぶ そうかんしつへ楯たての会かいメンバー4名とともに訪おとずれて、面談中めんだんちゅうに突如とつじょ総監ひとぢを人質ひとぢにしてたてこもりました。バルコニーから檄文げきぶん (自分のマニフェストをかいた文) を撒まいて、自衛隊の決起けっきを促うながす演説えんぜつをした後に割腹自決かつぷくしました。

私は今年三島の小説を読み始めて、三島のエレガントな文調ぶんちょうと暗くて深い主題しゆだいに魅了めいりょうされました。今は英語の翻訳で読まなければならなりません、いつか絶対に日本語の原文げんぶんで読んでみようと思っています。